



うそ電話詐欺防犯情報

うそ電話詐欺等に発展するおそれのある不審電話に要注意!!

東京では、強盗殺人事件現場の被害者宅に、事件発生前に「お金いくらある？」など資産状況を尋ねる、不審電話の事例がありました。

このような不審電話で入手した情報を基に、うそ電話詐欺以外に強盗などの凶悪犯罪に発展する可能性もあることから「不審電話に出ない対策」をするとともに、「不審電話を受けた場合の対策」についても、今一度考えてみましょう。



【鹿児島県内であった不審電話・手口の事例】

① 「警察官」を装った事例

- ・ ○○署■■課の△△です。空き巣に気をつけてください。
- ・ 近くに家族がいますか？
- ・ 一人暮らしですか？（※居住状況を聞き出す。）

② 「親族・家族（息子・孫）」を装った事例

- ・ 仕事でトラブルになって補填（弁償）しないといけない。
- ・ 家にお金いくらある？（※自宅にある現金を確認している。）

③ 「金融機関職員」などを装った事例

- ・ あなたの口座が不正利用されている。
- ・ 口座保護のため、預金残高・キャッシュカードの暗証番号等を教えて！
- ・ 元号改元に伴いキャッシュカードを変える必要がある。

④ 「防犯協会・消費生活センター・□□センター」などを装った事例

- ・ あなたの個人情報漏洩している。
- ・ 無料で削除できる。削除しますか？

⑤ 「電力会社・テレビ局（関連会社）」などを装った事例

- ・ 電気料金が未払いである。
- ・ アンケート調査をしている。（※調査名目で自宅保管金・資産状況を聞く。）

※ 外にも、類似した内容がありますので注意してください。



《 対 策 》

多数架かってくる電話の中から不審電話を見抜くことは困難です。
不審電話を受けないために

- ① 優良防犯電話（迷惑電話防止機能付電話機）へ変更
- ② 留守番電話に常時設定し、電話をかけた相手方を確認
- ③ 固定電話から携帯電話・スマートフォンへの変更

※犯人は何らかの方法で入手した名簿を使って、固定電話番号を把握しているようです。電話番号を変えることで、だましの電話が架かってくることは減少すると思われます。

※但し、ショートメール等を悪用した架空請求詐欺のメールには注意が必要です。

- ④ 固定電話の電話番号変更

などの事前対策をして、被害に遭わないように注意しましょう。

もし、不審電話を受けた場合には、「住所」・「氏名」・「生年月日」・「年齢（年代）」・「資産（預貯金）情報」・「カード暗証番号」等の個人情報は回答しないようにしましょう。

また、すぐに最寄りの警察署へ相談しましょう。

